

私たちの30年後の社会

～ ごみの資源化～

芝浦工業大学附属高等学校 高校2年 3年

2050年ってどんな未来？

- 1. 私たち高校生の実感
- 2. 現状の問題点
- 3. 2050年の社会



私たちの考える30年後

- 空飛ぶ車
- 1人1人に情報チップが内蔵される
- ロボット中心の世界.
- AIなどの技術によって言語の壁がなくなる



<https://www.cnn.co.jp/business/35173230.html>



<https://tripeditor.com/352351>

日常で感じること



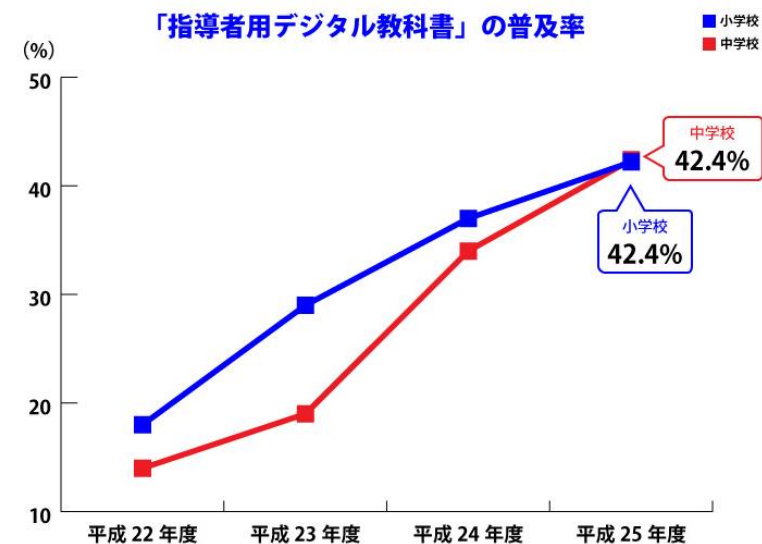
<https://www2.crafttown.jp/news/202006mybag/>

レジ袋の有料化(脱プラスチック)
スタバ紙ストローの使用

トヨタ EV車



<https://robotstart.info/2021/07/08/e-pallete-tokyo2020.html>



学校で使われる資料のデジタル化

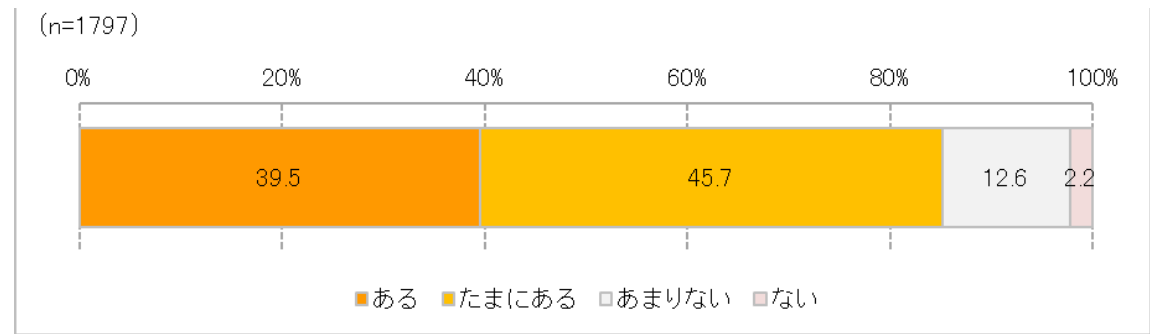
<https://career-ed-lab.mynavi.jp/career-column/973/>

→世の中のカーボンニュートラルに対する関心が高まった

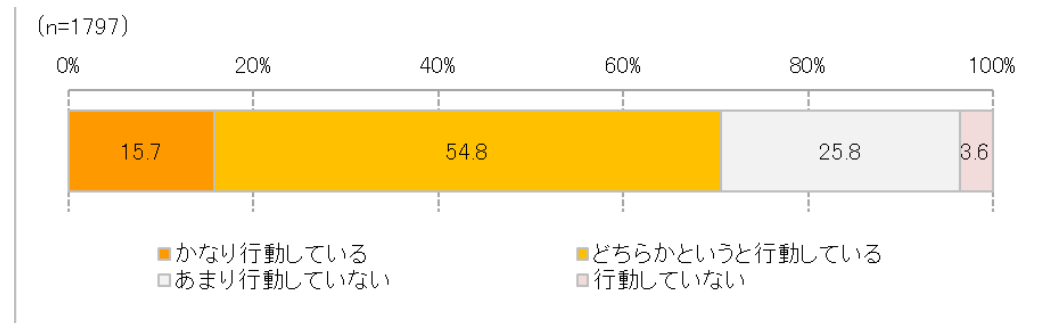
日本の現状

- 過剰梱包
- 廃棄食品

→これを資源化できれば
日本は資源大国に



グラフ1：過剰梱包・使用



グラフ2：実際に行動しているか

現在の取り組み

- 事実：コロナ禍でオンライン社会になったことで世界のCO₂排出量が7%(328トン)
- 火力発電所から出るCO₂の回収とメタン合成
- CO₂の再利用(鹿島建設のコンクリート・家電製品・ウレタンの開発)：図1
- トヨタの実証都市(ウーブンシティ)：図2

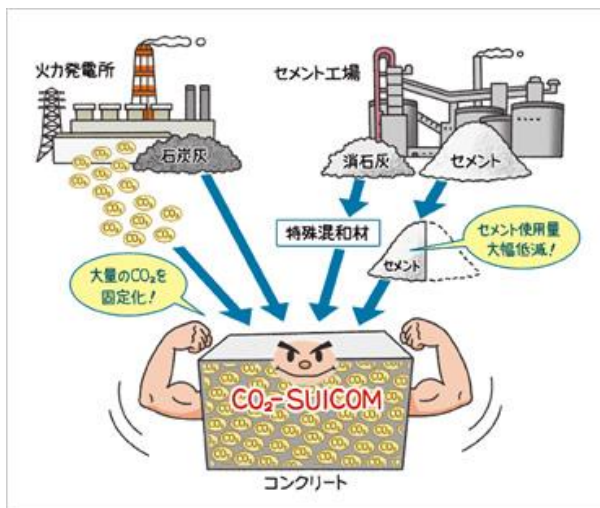


図1

https://www.kajima.co.jp/tech/c_eco/co2/index.html#!body_02



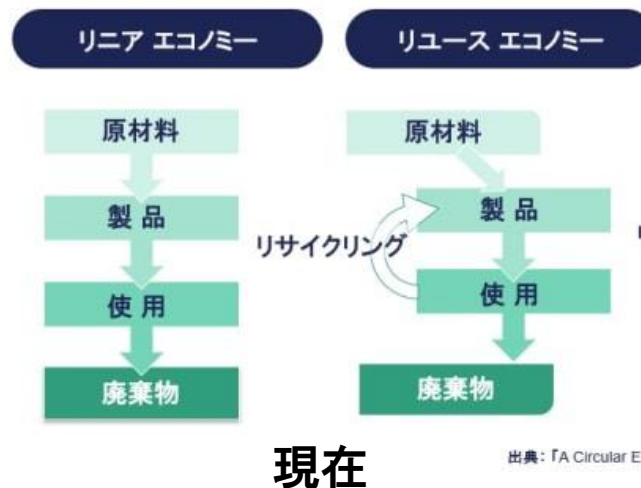
図2

<https://www.axismag.jp/posts/2020/01/162586.html>

見据える2050年の世界

- ゴミと資源を循環させる循環型社会(サーキュラーエコノミー)へ

ex) プラスチックがボールペンや靴、ビニール袋に
家電製品を分解してそれぞれを再利用



出典: 「A Circular E

30年後
→



脱炭素実現のために

- 4 Rの促進
- 再生品のデザイン性、利便性の向上
- 再資源化する技術の開発



<https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/ecology.html>



https://gloleacebu.com/dumpsite_poverty/